

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 「明日をつくるわたしたち」 （「明日をつくるわたしたち」 光村図書 全12時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
(1)オ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	B 書くこと (1)イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

【主な学習活動と留意点】

前単元「書くこと」からのつながり：

「日常を17音で」

- ・臨海学習で感動したことを基に、俳句を作った。
- ・より感動が伝わる俳句にするために、表現の工夫を考え合った。

働かせる見方・考え方：意見とそれを裏付ける客観的な事実との関係性、意見と文末表現との関係性を捉えること。

段階	学習活動（時間）	留意点
第一次	1 単元のゴールを知り、学習計画を立てる。(1)	<p style="text-align: center;">単元の見通しをもつ</p> <p>☞提案書のモデル文を提示し、学習計画を立て、目的と相手を確認しながら単元の見通しをもてるようにする。</p>
	2 身近な問題について調べ、自分の考えをまとめる。(2)	
単元を通した学習テーマ：「よりよいくらし」をつくるための提案書を書こう。		
第二次	3 グループで提案する問題について話し合い、問題を決める。(1)	<p style="text-align: center;">情報の収集・内容の検討をする（グループ・個人）</p> <p>☞自分たちで決めた提案する問題について、新聞や家族からの情報、インターネットなどで情報を集め、必要な情報を相談しながら決め、書く内容をまとめる。</p>
	4 決まった問題について、さらに資料を集め、書く内容を整理する。(3)	
	5 提案書の書き方を知り、文章構成を考える。(1)	<p style="text-align: center;">効果的な構成について知る（全体）</p> <p>☞モデル文の構成のよさについて知り、構成メモを工夫して自分たちの提案書の構成を考える。</p>
	6 構成メモに沿って役割分担し、自分の分担の部分を書く。(2)	
	7 提案書を推敲し、清書した後、他グループの提案書を読み合う。(2)	
第三次	8 6年生に提案を聞いてもらう。(1)	<p style="text-align: center;">考えを形成し、記述する（個人・グループ）</p> <p>☞説得力のある文章になるように、具体的・筋道・文末表現・グラフ（図）の視点をもって工夫して書く。</p>
	9 学習のまとめをする。(1)	
<p style="text-align: center;">自分の学びを振り返る（個人・グループ）</p> <p>☞グループでの話し合いや提案書の書き方について振り返る。</p>		

次単元へのつながり：「グラフや表を用いて書こう」

- ・目的に合った資料を選び、グラフや表を用いて文章と対応させて書く。